

テーマ

## 高崎の伝統を自分たちで引き継ごう！

～未来までつなぐれ！！ぼくたち私たちの伝統～

### 主な内容

#### 1 学習の目的について

本校がある高崎地区には、地域の方によって守られてきた祭りや文化財、伝統行事などが多数存在している。一方で少子高齢化が深刻化している。そのため、次の担い手が見つからず、消失または存続の危機に陥っている祭りや伝統行事が多数ある。

そこで、子供たちがこうした伝統に関わる人々に出会い、その思いに触れたり、その伝統を自分たちで受け継いでいく活動を行ったりすることで、伝統の価値や大切にしていこうとする心情を育てていこうと考え、本実践を行った。

#### 2 活動の内容について

##### 1次 「地域の伝統について調べよう」

- ①3年生は総合的な学習が初めてなので、どのような学習をするのかオリエンテーションを行い、3年生が取り組むテーマは「伝統」であることを子供たちと共有した。
- ②「NHK for school ドスルコスル」の「伝統・文化」をテーマとした番組を視聴した後、伝統について考えてみたいことを出し合った。「高崎にはどんなお祭りがあるのか」「高崎で、なくなってしまいそうなお祭りがあるのではないか」などの問いをもとに、学習計画を立てていった。
- ③東根市や高崎地区には、どのようなお祭りがあるのか、知っていることや家族から聞いてきたことを子供たちみんなで出し合った。その中で、高崎地区では山神社祭りというお祭りや東根市では東根祭りが行われていることを知り、どうしてこれらのお祭りをしているのか資料をもとに情報を集めた。
- ④お祭りが行われている理由について集めた情報をクラゲチャートに整理した。整理することで、お祭りは「地域の人々の幸せを願うために行われている」「地域の活性化のために行われている」ことが分かった。



## 2次 「自分たちで伝統を守ろう！」

①高崎地区で行われている山神社祭りについてもっと詳しく知りたいと、祭典の主催者である方に子供たち自身で連絡を取り、インタビューをする場を設けた。その中で、主催者の方から、山神社祭りで昔から行われている関山囃子という伝統芸能が、担い手不足のため、最近では披露できず、存続の危機に陥っているという情報をお聞きした。



②存続の危機に陥っている関山囃子の話を聞いてどう思ったかクラス全体で話し合った。子供たちは、「昔から行われているもので、なくなってしまっは勿体ない。」「困っているから自分たちで何とかしてあげたい。」などと考え、自分たちが関山囃子を受け継いでいこうと考えた。



③話し合ったことを主催者の方に報告し、関山囃子保存会の方達から関山囃子を教えていただけることになった。山神社祭りで関山囃子を披露することを目標に、関山囃子保存会の方からご協力をいただきながら、何度もお囃子の練習を行った。

④多くの方に関山囃子を知ってもらおうと、山神社祭りについてのポスターを作成し、校内に掲示したり、学校ホームページに載せたりして広報活動を行った。



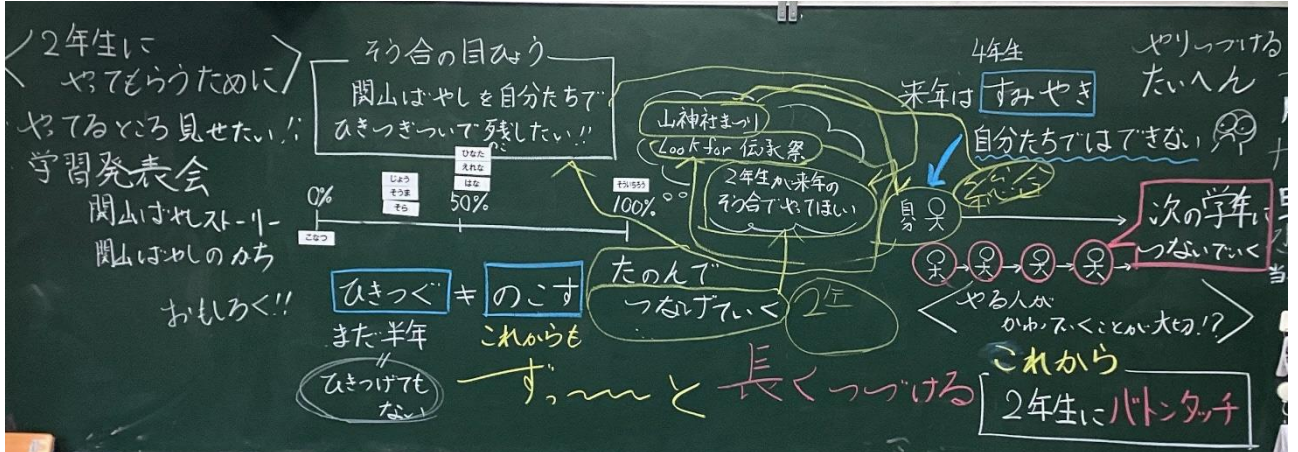
⑤山神社祭りで、これまで練習してきた関山囃子を披露した。地域の方から「久しぶりに関山囃子を見ることができて、とても感動した。」「子供たちが関山囃子を受け継いでくれるなんて思ってもいなかった。大切な伝統を受け継いでくれて嬉しい。」などと感想をいただくことができ、大きな成就感を味わった。

⑥関山囃子の価値を、さらに多くの方に知ってもらおうと、東根市で行われている「Look for エブリィ 伝承祭」に参加した。高崎地区以外の方からも関山囃子を知ってもらうことができた。



### 3次 「関山囃子のこれからを考えよう！」

①子供たちから「関山囃子を来年はどうしていくか。」と新たな問いが立ち上がった。そこで、これからも関山囃子が続いてこそ、自分たちの目的が達成されると考え、下級生たちがその担い手になってもらおうという結論に至った。そして、下級生たちが関山囃子を引き継ぎたいという思いをもてるように、学習発表会で関山囃子の価値や魅力を伝えようと考えた。



②学習発表会で関山囃子の価値や魅力を伝えるために、発表の内容や台本を子供たち自身で作成し、練習をした。学習発表会では、関山囃子保存会の方にもご協力をいただき、関山囃子を披露したり、その価値について伝えたりすることができた。



③3年生の子供たちは、習ったことを生かし、2年生に関山囃子を教えた。

④関山囃子保存会の方に感謝の会を開こうと計画を立てている。その中で、関山囃子や伝統の価値について考えたことや学習を通して成長したことについて振り返ったことを、保存会の方に伝えるつもりである。さらに、2年生による関山囃子も披露予定である。(予定)

### 3 まとめ

関山囃子や伝統の価値について振り返った。以下は子供たちの振り返りの記述である。

- これまで地域にのりたたちが必死に守ってきたからこそ、伝統は今も残っているのだと思いました。だからこそ、なくしてはいけないのだと思います。
- 伝統は、その地域にしかない「地域の宝」だと思いました。高崎地区に、関山囃子があることをほこりに思います。
- わたしたちは、関山囃子を通して地域の人とつながることができました。また、地域の人たちもお祭りなどでお囃子を通して楽しんでいました。伝統は、人と人をつなぐすごい力があるのだと思いました。



最初は、伝統について「古いから大事」といった程度の認識であった。それが、関山囃子を中心とした探究的な学びや保存会の方たちとの関わりにより、その方たちの思いに触れることで、上記のように伝統に対する見方の変容が見られた。子供たちは、これから伝統的な行事や史跡などを、学習を通して得た新たな見方で捉え、大切にしようと思うはずである。

